

2－3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 23 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 22 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成 23 年度新規開業した施設を加え、174 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 23 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 23 年 5 月～6 月
- 回答状況：調査対象数 174 施設
有効回答数 170 施設
(全問回答 57 施設、準全問回答 44 施設、部分回答 69 施設)
廃休業数 4 施設
新規開業数 1 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした174（平成23年度新規開業した1施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した4施設を除く170施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは57施設（対有効回答数比33.5%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは44施設（対有効回答数比25.9%）、部分回答が得られたのは69施設（対有効回答数比40.6%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200室以上、100室以上200室未満、50室以上100室未満、50室未満の4区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	7	4	5	0	(0)	16
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	32	15	12	5	0	(1)	32
	100室以上200室未満	37	12	12	13	0	(0)	37
	50室以上100室未満	27	8	10	9	1	(0)	28
	50室未満	17	5	2	10	0	(0)	17
計		113	40	36	37	1	(1)	114
旅館		41	10	4	27	3	(0)	44
全体		170	57	44	69	4	(1)	174
回収率：(%)		97.7	-	-	-	2.3	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	33.5	25.9	40.6	-	(0.6)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが16施設、登録ホテルを除くホテルは113施設、旅館は41施設となっている。また、室数の合計は21,650室、収容人数の合計は30,445人で、昨年度調査時点より合計施設数では3施設の増加、部屋数では548室、収容人数では853人の増加となった。

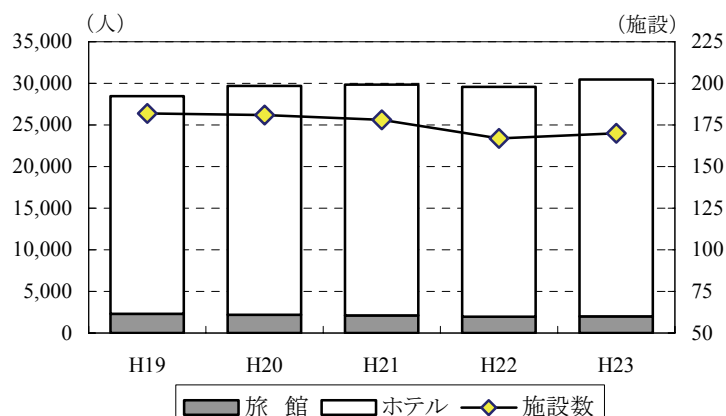
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	55	4,885	7,560	4,902	7,615
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	32	13	50	8,257	10,078	8,270	10,128
	100 室以上 200 室未満	37	9	27	5,182	6,957	5,191	6,984
	50 室以上 100 室未満	27	26	85	2,044	2,847	2,070	2,932
	50 室未満	17	54	157	452	632	506	789
計		113	102	319	15,935	20,514	16,037	20,833
旅 館		41	624	1,859	87	138	711	1,997
全 体		170	743	2,233	20,907	28,212	21,650	30,445

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,952	8,995	5,952	9,054	5,952	9,064	4,918	7,688	4,902	7,615
ホ テ ル	13,894	17,154	14,753	18,449	15,006	18,678	15,501	19,948	16,037	20,833
旅 館	844	2,317	790	2,174	759	2,120	683	1,956	711	1,997
全 体	20,690	28,466	21,495	29,677	21,717	29,862	21,102	29,592	21,650	30,445
施 設 数	182		181		178		167		170	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

a. 宿泊者数

平成 23 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 667 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 163 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 486 万人泊、旅館が約 19 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 519 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 44 万人泊、実人数は約 27 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 5.2%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.6 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、登録ホテルが宿泊者一人あたりの宿泊数 2.0 泊と最も多く、ホテル（登録ホテルを除く）と旅館がそれぞれ 1.4 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,627,346	232,710	1,267,703	117,984
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	2,598,452	132,521	2,034,588	105,089
	100 室以上 200 室未満	1,525,110	57,954	1,165,184	38,308
	50 室以上 100 室未満	609,890	11,588	501,330	7,579
	50 室未満	123,323	3,823	89,656	1,036
計		4,856,775	205,886	3,790,758	152,012
旅 館		189,898	2,659	133,688	1,888
全 体		6,674,019	441,255	5,192,149	271,884

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 21 年度から増加傾向にあり、昨年度より年間総実人数は 58 万人、年間総延べ宿泊者数は 71 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 21 年度以降増加傾向にあり、昨年度より 5 ポイント増加している。

外国人宿泊者数については、東日本大震災の影響によるものか、昨年度に比べ総実人数は 12 万人減、総延べ宿泊者数は 17 万人減と大幅に減少している。

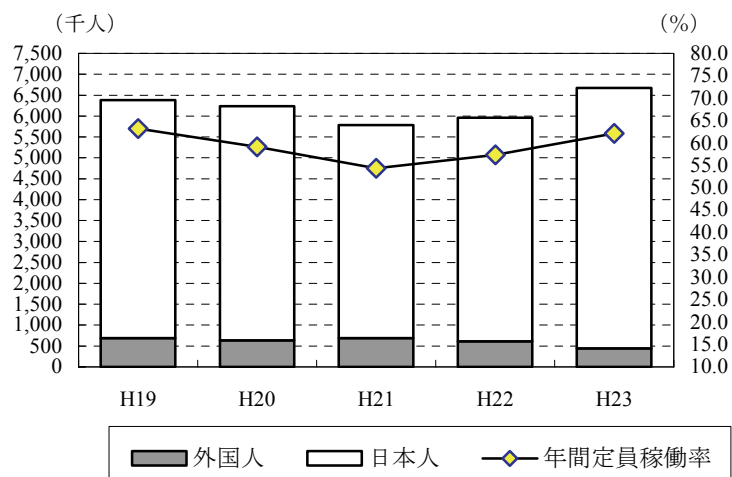
表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
区 分	年間総実人数（人）	4,845,349	4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149
	うち外国人	378,730	377,532	344,847	396,508	271,884
年間総延べ宿泊者数（人泊）	年間総延べ宿泊者数（人泊）	6,384,202	6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019
	うち外国人	688,805	634,900	494,002	609,400	441,255
年間定員稼働率（％）		63.2	59.1	54.3	57.3	62.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 23 年度の営業日数（通年営業施設は 366 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 62.1%の値を得た。区分別にみると、200 室以上のホテルでは 70%、登録ホテル及び 50 室以上 200 室未満のホテルでは 58～60%であるが、旅館では 26.1%とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		11	1,063,703	4,978	1,821,948	58.4
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	27	2,112,333	8,204	3,002,664	70.3
	100 室以上 200 室未満	24	994,056	4,481	1,640,046	60.6
	50 室以上 100 室未満	18	428,404	2,080	736,200	58.2
	50 室未満	7	56,591	362	132,492	42.7
計		76	3,591,384	15,127	5,511,402	65.2
旅館		14	75,267	797	288,377	26.1
全 体		101	4,730,354	20,902	7,621,727	62.1

注：③＝②×366 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,943,665 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数の 推計値 (人泊)
登録ホテル		5	2,637	965,142	58.4	563,643
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	5	1,924	691,492	70.3	486,119
	100 室以上 200 室未満	13	2,503	876,326	60.6	531,054
	50 室以上 100 室未満	9	852	311,832	58.2	181,486
	50 室未満	10	427	156,282	42.7	66,732
	計	37	5,706	2,035,932		1,265,391
旅 館		27	1,200	439,200	26.1	114,631
全 体		69	9,543	3,440,274		1,943,665

注：②＝①×366 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝②×③

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,674,019 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		11	1,063,703	5	563,643	16	1,627,346
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	27	2,112,333	5	486,119	32	2,598,452
	100 室以上 200 室未満	24	994,056	13	531,054	37	1,525,110
	50 室以上 100 室未満	18	428,404	9	181,486	27	609,890
	50 室未満	7	56,591	10	66,732	17	123,323
	計	76	3,591,384	37	1,265,391	113	4,856,775
旅 館		14	75,267	27	114,631	41	189,898
全 体		101	4,730,354	69	1,943,665	170	6,674,019

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（5,192,149 人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		7	604,060	775,722	77.9	1,627,346	1,267,703
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	15	944,491	1,206,097	78.3	2,598,452	2,034,588
	100 室以上 200 室未満	12	362,438	474,436	76.4	1,525,110	1,165,184
	50 室以上 100 室未満	8	172,281	209,480	82.2	609,890	501,330
	50 室未満	5	32,955	45,327	72.7	123,323	89,656
	計	40	1,512,165	1,935,340		4,856,775	3,790,758
旅 館		10	41,376	58,814	70.4	189,898	133,688
全 体		57	2,157,601	2,769,876		6,674,019	5,192,149

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		11	151,690	1,063,703	14.3	1,627,346	232,710
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	23	90,627	1,783,238	5.1	2,598,452	132,521
	100 室以上 200 室未満	16	25,070	657,172	3.8	1,525,110	57,954
	50 室以上 100 室未満	12	4,952	254,396	1.9	609,890	11,588
	50 室未満	7	1,746	56,591	3.1	123,323	3,823
	計	58	122,395	2,751,397		4,856,775	205,886
旅 館		13	931	68,655	1.4	189,898	2,659
全 体		82	275,016	3,883,755		6,674,019	441,255

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	④ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		7	61,475	121,263	50.7	232,710	117,984
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	14	36,621	46,173	79.3	132,521	105,089
	100 室以上 200 室未満	10	4,904	7,420	66.1	57,954	38,308
	50 室以上 100 室未満	6	1,401	2,143	65.4	11,588	7,579
	50 室未満	6	427	1,577	27.1	3,823	1,036
	計	36	43,353	57,313		205,886	152,012
旅 館		11	498	701	71.0	2,659	1,888
全 体		54	105,326	179,277		441,255	271,884

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 81 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 77 施設であり、その割合は 95.1%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 3 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 33.7%（58,217 人）と最も多く、次いで中国 19.5%（33,800 人）であり、タイ 11.1%（19,128 人）、米国 9.5%（16,411 人）、韓国 9.1%（15,773 人）が 1 割前後で続き、香港 6.4%（11,051 人）の順となっており、その他の国の割合は 2%以下である。

施設分類別にみると、登録ホテルでは上位 4 カ国の数はかなり拮抗している。ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が半数程度を占めている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					旅 館	全 体	
		200室 以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	10	20	17	15	7	59	12	81	
中国	13,718	14,488	3,977	1,263	232	19,960	122	33,800	19.5
香港	6,497	3,732	587	219	0	4,538	16	11,051	6.4
台湾	14,504	35,697	7,494	452	31	43,674	39	58,217	33.7
タイ	14,140	4,450	368	96	50	4,964	24	19,128	11.1
米国	12,681	1,293	1,720	543	12	3,568	162	16,411	9.5
韓国	8,072	3,834	3,050	677	70	7,631	70	15,773	9.1
インドネシア	2,806	267	81	16	0	364	1	3,171	1.8
ドイツ	2,181	378	26	89	11	504	21	2,706	1.6
英国	1,383	548	101	123	2	774	27	2,184	1.3
シンガポール	1,129	383	221	58	1	663	2	1,794	1.0
フランス	1,062	386	160	54	1	601	30	1,693	1.0
オーストラリア	879	352	154	111	9	626	35	1,540	0.9
カナダ	597	484	106	43	1	634	14	1,245	0.7
フィリピン	3	316	502	7	4	829	29	861	0.5
マレーシア	520	100	12	20	0	132	8	660	0.4
ベトナム	149	402	57	12	10	481	0	630	0.4
ロシア	200	177	4	7	0	188	3	391	0.2
インド	208	50	60	16	4	130	0	338	0.2
オランダ	241	3	1	35	0	39	3	283	0.2
ベルギー	224	7	0	0	0	7	0	231	0.1
イタリア	198	1	15	12	0	28	0	226	0.1
ブラジル	165	0	26	4	4	34	1	200	0.1
ニュージーランド	187	0	9	0	0	9	0	196	0.1
スウェーデン	161	0	12	0	0	12	0	173	0.1
メキシコ	0	17	3	6	0	26	1	27	0.0
スペイン	0	10	7	0	0	17	7	24	0.0
デンマーク	0	0	6	0	0	6	3	9	0.0
スイス	0	7	0	0	0	7	0	7	0.0
北朝鮮	0	0	0	4	0	4	0	4	0.0
エルサルバドル	0	4	0	0	0	4	0	4	0.0
モンゴル	0	3	0	0	0	3	0	3	0.0
フィンランド	0	0	0	3	0	3	0	3	0.0
ブータン	0	0	0	2	0	2	0	2	0.0
ネパール	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
スリランカ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
イスラエル	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
チェコ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
ハンガリー	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
ジャマイカ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
ミャンマー	0	0	1	0	0	1	0	1	0.0
パキスタン	0	0	0	1	0	1	0	1	0.0
ポーランド	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
スロバキア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
ノルウェー	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
コロンビア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
チュニジア	0	1	0	0	0	1	0	1	0.0
合 計	81,905	67,396	18,766	3,873	442	90,477	622	173,004	100.0

③修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 23 年度の修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は 12 施設（対有効回答 170 施設比 7.1%）である。学校数は 95 校、宿泊者数は 6,645 人である。今年度は、「修学旅行生のための宿泊施設ガイド」（（公財）名古屋観光コンベンションビューロー発行）に掲載されている 12 施設に直接聞き取りで調査を実施したため、昨年度（39 校、2,969 人）に比べ、学校数は 56 校、宿泊者数は 3,676 人と大幅に増加している。

宿泊施設分類別にみると、登録ホテル（16 校増、1,621 人増）と旅館（37 校増、1,721 人増）で増加が目立つ。

学校分類別では、小学校（40 校増、2,735 人増）が大幅に増加しており、高校（10 校増、532 人増）やその他（5 校増、86 人増）なども増加している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		4	29	2,906	100
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	3	14	1,411	101
	100 室以上 200 室未満	0	0	0	0
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	1	2	52	26
	計	4	16	1,463	91
旅館		4	50	2,276	46
全 体		12	95	6,645	70

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	19 年度		20 年度		21 年度		22 年度		23 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	25	1,411	21	1,081	22	1,814	8	267	48	3,002
中学校	9	696	12	939	5	149	10	778	11	1,101
高 校	14	2,053	8	730	6	549	6	672	16	1,204
その他	11	1,005	19	1,682	7	185	15	1,252	20	1,338
全 体	59	5,165	60	4,432	40	2,697	39	2,969	95	6,645

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 95 校中 36 校 (37.9%) が東海・北陸地域から、23 校 (24.2%) が関東・甲信越地域、21 校 (22.1%) が近畿地域からの修学旅行団体であり、以下、北海道・東北地域 10 校 (10.5%) 中国・四国地域 4 校 (4.2%)、九州・沖縄地域 1 校 (1.1%) であった。昨年度と比較すると、東海・北陸地域が 31 校、関東・甲信越地域が 13 校、北海道・東北地域が 8 校、近畿地域が 7 校、中国・四国地域が 3 校それぞれ増加しているものの、昨年度 6 校あった海外からの修学旅行団体は 1 校もなかった。

学校分類別では、小学校 (48 校、50.5%) が最も多く半数を占める。次いで、その他 (20 校、21.1%)、高校 (16 校、16.8%)、中学校 (11 校、11.6%) の順となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	8		4	4	
		関東・甲信越	6	2	1	2	1
		東海・北陸	11	2	5	2	2
		近畿	2	1			1
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	1			1	
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	6	4	1		1
		東海・北陸	7	7			
		近畿	1				1
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	0				
旅館		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	11	2		1	8
		東海・北陸	18	16			2
		近畿	18	14			4
		中国・四国	2			2	
		九州・沖縄	0				
全 体		北海道・東北	10	0	4	6	0
		関東・甲信越	23	8	2	3	10
		東海・北陸	36	25	5	2	4
		近畿	21	15	0	0	6
		中国・四国	4	0	0	4	0
		九州・沖縄	1	0	0	1	0
		計	95	48	11	16	20

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					2	138			2	138
青森県										
秋田県										
岩手県			4	478					4	478
山形県					2	152			2	152
宮城県					2	140			2	140
福島県										
東京都			1	48			4	702	5	750
神奈川県			1	209	1	126	2	53	4	388
千葉県	1	90			1	37	3	120	5	247
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県	2	67			1	116			3	183
長野県	4	342					1	225	5	567
山梨県	1	70							1	70
愛知県										
岐阜県			5	366			1	35	6	401
三重県										
静岡県	23	1,541			1	42	2	26	26	1,609
福井県	1	15							1	15
石川県	1	57					1	36	2	93
富山県					1	46			1	46
滋賀県	1	7							1	7
京都府	14	813					2	59	16	872
大阪府							1	20	1	20
奈良県							1	15	1	15
和歌山県										
兵庫県							2	47	2	47
鳥取県										
島根県										
岡山県										
広島県										
山口県					1	99			1	99
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県					3	269			3	269
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県					1	39			1	39
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合 計	48	3,002	11	1,101	16	1,204	20	1,338	95	6,645